

# 高温でも使える形状記憶合金 = 利用範囲の拡大に期待 - 筑波大

9月14日 21時34分 配信 [時事通信](#)

筑波大学大学院数理物質科学研究科の宮崎修一教授らの研究チームは14日、従来を大幅に上回る200度までの高温下でも機能する新たな形状記憶合金を開発したと発表した。

形状記憶合金は元の形状に戻る温度(形状回復温度)を設定できるが、現在一般的なチタン・ニッケル形状記憶合金の形状回復温度は82度が限界。新たな合金は、高温となるエンジン部品など従来利用不可能だった分野にまで「応用範囲を大幅に拡大することが期待できる」(宮崎教授)という。

最終更新:9月14日 21時34分

